

5年生 総合的な学習

5年1組 「だしマ☆51（仮）」

5年生になり、家庭科の学習が始まりました。最初の調理実習では、味噌汁を作りました。そのときに出てきた「だし」という言葉。「だして何?」「入れて何か変わるの?」興味をもった子どもたちは、だしを入れた味噌汁と、だしが入っていない味噌汁を飲み比べてみました。「どっちもおいしいけど、だしが入っていないと、少し塩辛い。」「だしが入っていると、香りがいい。」そこで、「だしはなくてもいいけど、入れると料理をおいしくする、魔法の調味料なんじゃないか。」という仮説を立てました。「だし」に興味をもった5年1組の子どもたち。だしの秘密を探っているところです。

夏休み前は、インターネットや本などを使って、種類やとり方、どんな効果があるのかなど調べました。そして、調べたことをもとに、実際に、にぼしだしのおいしいとり方を試行錯誤し、その中で、分量やかける時間の大切さに気付きました。夏休み明けは、他の素材（かつお節や昆布など）のだしをとる活動をし、その後、実際に料理に生かしていきます。食の大切さ、感謝の気持ちを、体験を通して学んでいきたいと思っています。

5年2組 「ソーラーパワーを使おう隊」

エコや節電について考える中で、5年2組はソーラーパワーに注目して活動を始めました。「実際に自分たちが乗れるソーラーカーをつくりたい!」という思いをもち、まずは太陽のすごさを実感しようと「ソーラークッカー」作りをしました。

ホームページなどで調べてみるととっても簡単に、いろいろな料理ができるということを知り、自分たちで材料を集めてつくりました。料理も焼き芋やホットケーキ、クッキーなどに挑戦しました。しかし、1回目は失敗・・・。

何が悪かったのか、もう一度調べて再チャレンジすることになりました。

太陽が動くことや太陽の角度、熱を奪う風対策などグループで協力して2回目のソーラークッカーが完成しました。そして、いよいよ調理開始・・・。

2回目は成功?かどうかはわかりませんが、満足そうに自分たちが温めたお湯で紅茶をつくり飲んでいたグループもいました。お湯は70度を超えるくらいまで温まり、「工夫をすれば太陽の力はかなりすごい!」という思いをもちました。

ソーラーカー作りも困難や失敗の連続だと思いますが、この経験を生かして自分たちの夢に向かって活動に取り組んでほしいと思っています。

5年3組 「大岡川博士になろう!～大岡川生き物研究所～」

日枝のまちを流れている大岡川。子どもたちは、登下校や放課後など、普段何気なく目にしていますが遊んだ経験はなく、大岡川に対してマイナスなイメージが強く、生き物もクラゲくらいしかいないのではないかと思っていました。

しかし、実際に大岡川に行ってみると、クロベンケイガニ、テナガエビ、ヌマエビ、ヤゴ、マハゼ・・・などたくさんの生き物を子どもたちは捕まえることができました。「すごい!大岡川にこんなに生き物がいたんだ

ね！もっと調べてみたい！」と、子どもたちは大岡川の生き物に夢中になりました。生き物を育てるために大岡川の環境を調べたいと意欲をもち、水質、生態系、水草などについて調べています。調べているうちに思わぬ外来種を見つけたり、生き物の住み処の水草が刈られていたり・・・など問題にも気づき、生き物を守りたいという思いが芽生えはじめています。

大岡川の生き物を通して、人が環境に与える影響や自然を守っている人の思い、そして身近な自然に目を向け、それに親しみ守っていく思いが育ってほしいと思っています。